

SORACOM User Group のはじめ方

株式会社ソラコム コミュニティ支援チーム

SORACOM User Groupとは？



SORACOM に関わる人が誰でも参加出来るコミュニティ

- ・知りたい人
- ・使ってみたい人
- ・使っている人
- ・より良い使い方を知りたい人

SORACOM User Groupは誰でもはじめるられる

コアメンバー

運営するコアメンバーは、IoTの可能性を信じ、新しいことに対して楽しみながら前向きに取り組める人が向いています。

IoTでは、デバイスからクラウドまで幅広いスキルが求められるため、コアメンバーは様々なスキルセットを持った方が集まると効果的です。

また、活発なメンバーとのコミュニケーションを行い、コミュニティを作ることができる方が向いています。

メンバー



SORACOM UG は、SORACOMを利用したい方は、誰でもメンバーになることができます。SORACOM UGに参加する方々は、SORACOMに触れてみたい方、SORACOM のサービスの実践的な使い方を学びたい方、自社のIoTビジネス促進のためのネットワークを作りたい方、IoT ビジネスのヒントを得たい方など、様々な理由を持った方がいらっしゃいます。

SORACOM UG をはじめるには

はじめに



SORACOMの講演を聞いたり、記事を読んだり、触ってみたりして、SORACOMにワクワクしたら。

SORACOMに興味がある人が数人たまたま集まったら。UGを開催するきっかけとしては十分です！

コアメンバーを集める

まず、少人数のコアメンバーを募りましょう。
コアメンバーで集まり、UGの目的をクリアにする
と良いでしょう。
ユーザーグループを成功させるには、コアメンバー
がやる気に満ち熱心である必要があります。
コアメンバーの中で、リーダーを1名アサインして
おくこともコンタクト先を明確にする上で役に立つ
でしょう。

User Groupの名前と目的

User Groupの目的を明確にすれば、よりその目的にそったメンバーが集まりやすいでしょう。
例えば、SORACOM UG “地名”のような名前を持ったコミュニティはその地に所縁のある人々が集まりやすいでしょう。

オンラインコミュニティを作る

オンラインコミュニティを作ります。

コミュニティをホストするプラットフォームを考える必要があります。Facebookのグループや、doorkeeperやMeetup.com など選択肢はたくさんあります。グループにとって最適なプラットフォームを選択してください。必要に応じて、コアメンバー間のコミュニケーション方法、メンバー間のコミュニケーション方法など最適化していきましょう。

User Group イベントを開催する



イベントを企画して直接会って勉強会をしたり、新しいメンバーに参加してもらいSORACOM話で盛り上がることほど楽しいことはありません。SORACOM User Groupイベントの開催するために、まず日程と開催場所を決定し、コンテンツを決めます。

また、コミュニティが盛り上がるためには、継続して開催することが大切です。コミュニティの性質や状況にもよりますが、開催は2ヶ月に1度ぐらいの頻度で開催していくと良いかもしれません。

ソラコムへ連絡する

UGの目的を明確にし、リーダーとコアメンバーを決定し、オンライングループを作成し、最初のUGイベントを計画したら、必ずソラコムのユーザーグループ事務局に連絡して、SORACOM 公式のユーザーグループページにグループが追加されるようにしてください。community@soracom.jp までお知らせください。

最後に、

イベントが盛り上がるようにソラコムでもPR活動をさせていただきますし、追加のガイダンスをご提供いたします。

ソラコムのユーザーグループコミュニティが成長するのを楽しみにしています！

SORACOM UG 東京の活動



- 過去3回実施
 - soracom使ってみたLT
 - IoTにまつわる発表等



SORACOM UG 山形の活動

- 過去1回実施
 - SORACOM 概要の説明
 - 超音波センサーハンズオン実施



SORACOM UG 九州の活動



- 過去1回実施
 - SORACOM 概要の説明
 - 九州のIoT関係企業様の発表とパネル

